

# 水俣市民が海と山の関係を知ったなら？



～現在の水俣とこれからを伝える～

熊本県立水俣高等学校 電気建築システム科 建築コース

2年生2名



『環境首都水俣』に学ぶ水高生から世界への「いのち」の発信

## I. Wood connect project (ウッドコネクトプロジェクト) について

環境アカデミア，水俣市総務部，林業，山林管理者，水俣市建具組合，熊本県技能振興コーナー等と連携し、木育及び環境に配慮したものづくりを念頭に置いて地域産材や廃材の利活用の取り組みについて研究を行ってきた。



## II. 仮説 ～水俣市民が関係と現状を知ったら？～

- ・何もしない？
- ・ポイ捨てが減る？
- ・木で作ったものを使う人が増える？
- ・少しでも林業や漁業に参加してくれる人が増える？



## III. 現在行われている広報活動

- ・山林管理者と山主さんの中での説明会
- ・WCPでの講演会や伐採体験等の活動

## IV. これまでの結果・考察

- ・一部のみにしか知られていない
- ・広める人が少ない
- ・市民に関心がない
- ・難しくとらえてしまう

## V. これから実用可能な広報活動

- ① 回覧板を使用
- ② ポスター作製
- ③ ゲーム形式での体験

### まとめ

広報活動としてどの例が一番よいかなど、検討し、今後の活動につなげていきたい。